

第4回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会 兼

第3回佐久市地域公共交通会議 会議録

日時：平成23年11月15日（火）

13:30～14:50

場所：佐久市研修センター

1階大会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善協議会協議事項

①市民アンケート等の調査結果について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	巡回バスが100円であるのに対し、望月はデマンドタクシーが500円という ことで不平等であると感じている。10年前に望月に越してきて自ら車を運転で きない方でもう住みたくないと言っている人もいる。
委員	不便な地域が便利になるように検討していただきたい。
委員	資料2の11ページに記載される距離制運賃について最大、最小でも記載があ ると良いと思う。また、24ページに経費を記載しているが、1人あたりの経費 も記載したほうが良いと思う。
委員	資料1の1ページ目に核家族化について記述されているが、今後問題となる のは独居老人だと思う。独居老人のことも資料に掲載したほうが良いと思う。 交通事業者が運行するバスを自主運行バスと記載しているが、表現は検討し たほうが良いと思う。
事務局	アンケートについては、回答率が50%を超えたのは良かったが、60%まで届 かなかったのは残念。地区別での視点が計画策定には重要であると考えている。 バスに対する満足度は高いことから、これ以上悪くしないで欲しいという切 実な思いだと思いますので留意していただきたい。
事務局	独居老人については、数値を整理し次回提示したい。 自主運行バスの表現についても今後検討したい。
委員	アンケートの地区別集計は、資料4に掲載しているのでご参照願いたい。
事務局	資料2の4ページを見ると前山地区の人口が多いが、どのような地区か教え て欲しい。
委員	前山地区は、野沢地区の西側に位置する地区で、野沢地区の西側には団地等 が存在している。資料の図では、地区別に着色しているため山の方まで人口が 多いように見えるが、人口が多いのは市街地の周辺部となっている。
委員	そのような状況であるとすれば、人口密度としても整理したほうが良いと思 う。
委員	バスに対する満足度が高く驚いている。利用者はありがたいと思乗っている のは間違いないが意見も多く、場合によっては行政が行うアンケートである ため遠慮しているのではないかと考えられるので注意が必要である。

②今後の検討の方向性について

- ・事務局より資料説明
- ・質疑、意見等

委員	資料 5 の 3 ページ右下に記載される②の「最適な地域公共交通」というのは具体的にどのようなものを想定しているか。
事務局	また、⑤に「地域生活路線」とあるが具体的にはどのようなものか。 第 1 回目の協議会での協議なので、その時にあまり具体的なことは出ていないが、地域・市民の方の要望に答えながら使いやすい公共交通を検討していくという考え方である。 地域幹線路線と地域生活路線については、市域が広い状況から各地域間を結ぶ路線を地域間幹線路線、各地域内の集落等を結ぶ路線を地域生活路線という表現をさせていただいている。
委員	これについては、バスを想定しているか。
事務局	地域生活路線については、バス、デマンドタクシーの両方を含めて想定している。
委員	アンケート結果では、公共交通を利用しない理由として、利用したい時間や方向が合わないという意見が多いが、病院などへの移動は個人により異なり、これに対応するためには大量輸送では限界があるのではないかと思う。そのため、地域幹線路線と地域生活路線を基本にしながら、それを補完するようなものも必要だと思うため、全体を作り上げる中で検討に加えて欲しい。 また、運賃については、少なくとも佐久市内の移動は統一した運賃にできないかとも思っている。
事務局	運行形態、運賃を合わせて全体について検討が必要だと考えている。
委員	公共交通利用者が減少している理由はどのようにとらえているか。
事務局	少子化でスクールバスを利用する小中学生や高校生が減少していることによる母集団の減少、高齢化しているものが高齢者の免許保有者が増加していることなどにより、公共交通利用者が減少してきているものととらえている。
委員	他都市では、駅、バス停からの圏域を図で整理し、交通空白地域などの対策を検討しており、そのような図面も作って欲しい。
事務局	ご意見のとおりであり、そのため、資料 2 の 15 ページに人口メッシュとバス停からの圏域を重ね合わせた図面も整理している。このような部分もご覧頂き、ご検討いただければと思う。
委員	今後の検討における 4 つの視点は、それぞれ重要であると思う。ただし重要度は異なり、財政については、はじめ優先度は低くして考えていただきたいと思う。一番肝心なのは独居老人であり、同居人がいないと公共交通に頼らざるを得ないためご留意いただきたい。 スクールバスについては、スクールバスの混乗ということで問題がクリアされることもあるので、ご検討いただきたい。 また、「公共交通利用への転換を推進」というのは重要であるが難しいものであり、市職員が自ら使えるようにするにはどのようにすればよいか考えていけば、一般の方も使えるのでそのような視点で検討してみたい。

(2) 地域公共交通会議協議事項

①中仙道線の運行経路の一部変更について

- ・千曲バスより資料説明
- ・質疑、意見等 特になし

4 その他 事務局より次回会議の日程（12月21日（水）13：30～）について連絡

5 閉会